

競泳選手

金藤理絵さんに

「ふるさと功労賞」授与

総務課 人事秘書係

☎0824731125

市は、山内町出身で競泳選手の金藤理絵さんに「庄原市ふるさと功労賞」を授与しました。

この賞は、文化、スポーツ、社会貢献などで市民生活に夢と希望を与え、庄原市の名を高めた方を顕彰する制度です。

金藤さんは、平成20年に開催された北京オリンピック大会競泳女子200メートル平泳ぎで7位に入賞するなど、これまでも同賞を3回受賞。昨年9月に行われたアジア大会でも同種目で銀メダルを獲得するなど、世界大会、全国大会で極めて優秀な成績を収められました。現在、女子200メートル平泳ぎの日本記録保持者でもあります。

1月16日、市長室で授与式が行われ、木山耕三市長は「優秀な功績を残された金藤さんは庄原市の誇りです。心より敬意を表します」と述べ、賞状と記念品の盾を贈りました。

●本年度の功績概要

バンパシフィック選手権

ゴールドコースト大会（8月）

▶ 200m 平泳ぎ 2位

アジア競技大会仁川大会（9月）

▶ 200m 平泳ぎ 2位

W 杯香港大会（9月）

▶ 50m 平泳ぎ 2位

▶ 100m 平泳ぎ 2位

▶ 200m 平泳ぎ 1位

W 杯モスクワ大会（10月）

▶ 50m 平泳ぎ 3位

▶ 100m 平泳ぎ 1位

▶ 200m 平泳ぎ 1位



母校で自身初の講演会 後輩に夢を持つことの大切さを語る

同日、公益社団法人庄原法人会主催による金藤さんの講演会が、母校の庄原中学校で開催され、生徒や保護者、支援者など約550人が熱心に耳を傾けました。

金藤さんは、幼少の頃から学生時代、これまでの競技生活を振り返り、水泳に対する意識の変化や練習への取り組み方、トレーニング方法などを紹介。

自身の経験から夢を持つことの大切さを熱く語り、「私が北京オリンピックに出場できたのも、オリンピックに出たいという夢を持っていたから。夢に向かって目標を掲げ、それを一つ一つクリアしていくこと。失敗しても繰り返しチャレンジすることで夢に近づく。皆さんも大きな夢を持ってほしい」と後輩にエールを送りました。

生徒たちは「金藤先輩のように自分の夢を実現できるよう努力していきたい」と目を輝かせていました。



写真上…フローチャートを示しながら「細かな目標を設定し、一つ一つクリアしていくことが夢をつかむ一番の近道」と語る金藤さん。写真下…県大会優勝という夢の実現のために何が必要かを生徒と一緒に考えている場面